

タイトル	著者名	内容紹介
ミカエルの鼓動	柚月 裕子	「ミカエルは人を救う天使じゃない。偽物だ」手術支援ロボットミカエルを用いるか否か、対立する二人の心臓外科医。
倒産続きの彼女	新川 帆立	彼女が転職するたび、その企業は必ず倒産する一弁護士・美馬玉子と、剣持麗子がタッグを組み、謎の連続殺「法人」事件に挑む。
民王 シベリアの陰謀	池井戸 潤	第二次内閣を発足させたばかりの武藤泰山を絶体絶命のピンチが襲う。謎のウイルスの感染が急速に拡がり、終息を図る泰山に、世論の逆風が吹き荒れる。
夜が明ける	西 加奈子	まだ光は見えない。それでも僕たちは夜明けを求めて歩き出す。二人の友情と成長、人間の哀しさや弱さ、そして変わりゆく日々を生きていくことの奇跡を描く。
塞翁の楯	今村 翔吾	どんな攻めをも、はね返す石垣。どんな守りをも、打ち破る鉄砲。「最強の楯」と「至高の矛」の対決を描く、究極の戦国小説。
星を掬う	町田そのこ	賞金ほしさに、ある思い出をラジオ番組に投稿した千鶴。それを聞いて連絡してきたのは、自分を捨てた母の「娘」だと名乗る恵真だった。